

専務理事着任による新たな組織体制始動のお知らせ

7月より、当財団にこれまで不在であった専務理事（常勤理事）が着任し、新たな事務局体制がスタートしました。

この新体制の下、高齢化・人口減少などにより佐渡の文化が直面する課題に、民間活力を生かして豊かな文化の保存・継承・活用につなげていけるよう役員・職員一同、より一層職務に邁進してまいります。

専務理事就任のご挨拶



専務理事 鶴間 基宏

令和8年7月1日より佐渡文化財団の専務理事に就任しました鶴間基宏と申します。皆さま方には日頃より当財団へのご支援・ご協力、そして佐渡の文化振興にご尽力いただき心より感謝申し上げます。

私は約30年市役所勤務をしていましたが、最後の10年程度で伝統芸能など佐渡の文化に深く関わらせていただきました。恥ずかしながら、それまでは文化には興味も薄く、全くの無知でありました。ただ、最後は「もっと文化に関わりたい。」「文化の継承・後継者育成を進めたい。」と思う

ようになっていました。この変化の要因は、文化への愛着はもとより、「人」への愛着が大きかったと思っています。これまでたくさんの文化に携わる人、支える人たちに会ってきましたが、皆様それぞれが佐渡への愛着と文化への熱い想いを持っており、時に真剣に、時には楽しい時間を共に過ごさせていただきました。私にとって多くの「仲間」ができた貴重な時間でした。文化とは人間が創り上げたものと言われますが、逆に文化が人間（関係）を創るのかもしれない。文化の素晴らしさを深く知ると同時に、これを守り伝えて行かなければならないとの使命を感じ、この度専務理事を引き受けた次第です。

当財団は常勤理事の不在が長らく続いており、皆様方には心配をおかけしたことと思います。微力につき皆様の期待に応えられるか不安ではありますが、佐渡の文化を守り伝えるため、まずは2年の任期を精一杯頑張っていきたいと思っています。引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願いできますよう、よろしくお願いいたします。

新コラム「佐渡で輝く人たち(仮題)」連載決定!!

令和8年秋号（10月号）より、「さど文化板図」に新しいコラムが誕生します！「佐渡で輝く人たち」と題し、佐渡の多様な文化や芸能の分野で活躍されている方々をご紹介します。

毎号一人ずつ、その人となりや対象分野に取り組む姿を通して、文化・芸能の魅力を発信するとともに、佐渡という風土で輝く人の生き方もお伝えいたします！

